

2024 年度支援事業（ビジネスプランコンテスト）

課題提起・付加価値創造コース（アイデア募集）

採択ビジネスアイデア

アイデア名称 : アクア・サーキュラー (Aqua Circular)

採択者名 : 飯山 良偉

(注) 本ビジネスアイデア（原文のまま）は、採択者の希望により公表します。

本ビジネスアイデアの知的財産権は、採択者が有しています。

本ビジネスアイデアの無断転載・引用を禁止します。

2024 年 9 月 2 日

主催者 一般財団法人 水・地域イノベーション財団

2024 年度 支援事業(ビジネスプランコンテスト) 地域と水をかけあわせて地域活力を向上

〒662-0038

兵庫県西宮市南郷町 1-11

飯山良偉(兵庫県立蘆屋高等学校)

ビジネスアイデアの名称

:「アクア・サーキュラー(Aqua Circular)」

応募ビジネスアイデアで対象とする課題及び考案の経緯(200 字以内)

:世界的でも豊富な雨量を誇る日本。しかし近年は自然の猛威に成すべがない。私の家では雨水タンクがあるが、雨季で満タンとなると、後は溝に流れ落ちるだけ。ある日、雨樋の下の玩具が水流でグルグル回っているのを見て思い浮かんだ。全世帯にある雨樋に簡易式の水flow蓄電池を付けたら、ソーラーが溜まらない雨天時に蓄電ができ、また災害時にも各家庭で電力が確保できているので、どんなに多くの人命が救えるのであろうかと。

課題解決するための現段階でのアイデア(400 文字以内)

:家庭設置の一般的な 50 mmと 60 mmの雨樋サイズで、接手かエルボ部分に簡単に差替え可能なアクア・サーキュラー(仮称)を設計する。基本的には地表付近で設置して、水流によりプロペラでモーターを回し、簡易発電する。蓄電池部分は据付型が安価だが、屋外で形態などの充電をしなければならない不便を生じるので、ワイヤレス蓄電池の利用を検討。ワイヤレス使用により、一般世帯で平均 2-4 本の雨樋に全て設置が可能となる。また、晴天時には蓄電ができないので無用となりかねない事に配慮すると、日照が良い箇所にある角マスや集水器では、雨樋を筒状のソーラーパネルで囲むことにより、晴天時は太陽光発電、雨天時は雨水flow発電のダブル集電とすると、気象変化に関わらず一定量の電気が蓄電できる(アクア&ソーラー・ダブルサーキュラー)。

アイデアを実施する場合のスケジュール

:アクア・サーキュラー、アクア&ソーラー・ダブルサーキュラーともに基本設計に 3 カ月。試作品試作に 3 カ月。テスト、結果評価、改良に 3 カ月、仕様の最終化に 3 カ月

アイデアを実施する場合に想定される主要メンバー(組織体制、協力者や連携先等)

:家族(母、父)、叔母、親類で関係産業に従事している方などの助力